

## どこさねっとで 年末年始期間の診療予定情報が検索できます！

2023年11月現在、青森県内の病院・医科診療所においてどこさねっとをご利用いただいております。歯科診療所や薬局などにおいても、ご利用いただけるよう準備をすすめているところです。

当院では、ゴールデンウィークやお盆期間中、年末年始などの長期連休中の診療予定日を「どこさねっと」からご登録いただき、圏域・市町村別、期間・日付、診療科別に、医療機関を検索できるよう機能を充実してきました。これまでは、東青地域のみで活用しておりましたが、より多くの医療機関にご活用いただけるように、今年度の年末年始期間から、県内すべての医療機関にご協力いただいております。

### < 年末年始の診療予定照会期間 >

令和5年12月23日(土) から 令和6年1月8日(月祝) まで

### どこさねっと 活用ポイント

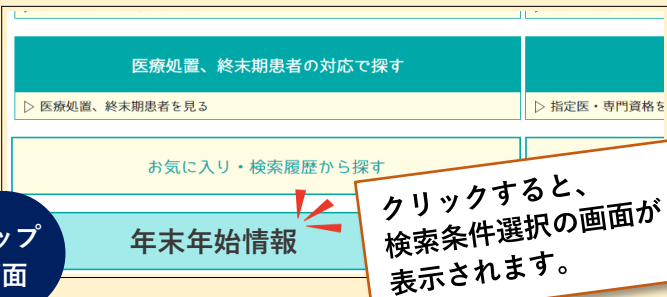


#### ◆ 目的に合わせて紹介先をさがす

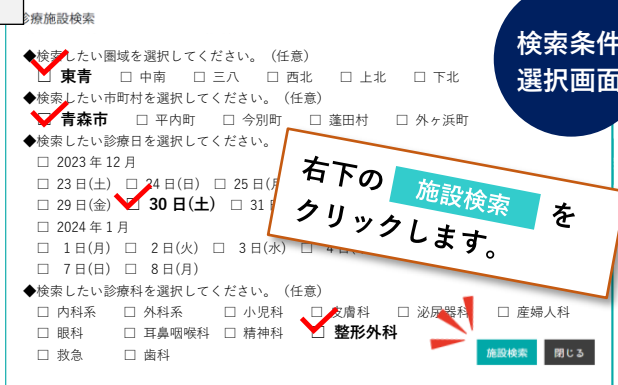
- ・患者さんに必要な処置やケアなどに対応できる医療機関をさがす
- ・長期連休期間に診療している医療機関をさがす

▶ 青森市で、12月30日(木)に診療している整形外科を探す場合の手順を紹介します。

1 検索開始日になると、トップ画面の一番下に、「年末年始情報」の項目が表示されます。



2 検索したい項目にチェックを入れます。



3 条件に該当する医療機関の一覧が表示されます。

医療機関名	住所
A 整形外科医院	青森市〇〇
B 整形外科	青森市△△
C 整形外科クリニック	青森市□□

一覧画面

医療機関名の上でクリックすると、詳細情報が開きます。

どこさねっと URL

<https://maps.dcsa.jp/login.php>

\* ログイン ID やパスワードがご不明な場合は、下記までご連絡くださるようお願いします。

年末年始期間の診療予定情報検索開始日  
12月18日(月) から

< どこさねっとに関するお問い合わせ先 >

医療連携部 企画グループ TEL : 017-726-8493

MAIL : renkeijoho@med.pref.aomori.jp

# 各研修会開催の報告

医療連携部では、地域の医療従事者等との交流と自己研鑽を目的に、医療機関の医師、歯科医師、看護師、薬剤師などの医療従事者を対象とした「スキルアップ研修会」と、医療と介護の連携を深めることを目的に、地域の介護従事者を対象とした「介護従事者に知ってほしい医療を学ぶ研修会」を開催しております。

今回は、9月と10月に開催された各研修会について、ご紹介します。

## スキルアップ 第3回

開催日▶ 9月19日(火) 医師、歯科医師、歯科衛生士など 34名参加

テーマ▶ 在宅で食べる機能を取り戻す

～職種を超えてチームで取り組む仕組みをつくろう!～

講師



今回の研修会では、「軟らかく、飲み込みやすい」から一歩進んで、  
職種を超えてチームで「最後まで口から食べたいものを食べる」仕組みを学ぶため、  
長年、訪問歯科診療に取り組まれている五島先生に、様々な角度からお話していただきました。

ふれあい歯科ごとう

代表 五島 朋幸



- ・ 食べることを支える、咀嚼(噛むこと)と嚥下(飲み込み)のちがいを
- ・ 医療者は本人の能力を伸ばしているのか
- ・ 口から食べられない(摂食嚥下機能低下)、痩せてきている(栄養不良)
- ・ 口から食べられない人、口から食べさせてもらえない人
- ・ 食べ物を使用しない訓練では、食べられるようにならない

参加者の  
感想



歯科衛生士 Aさん

患者さん一人一人としっかり向き合って、  
食事や栄養、全身状態の向上に  
つながられればいいと思いました。



看護師 Bさん

患者さんの状態を丁寧にアセスメントして、  
本当の意味で患者さんのためになるケアをしたと再確認  
できました。ケアの本質を教えていただきました。

## 介護従事者 第2回

開催日▶ 10月21日(土) 介護支援専門員、介護職の方など 80名参加

テーマ▶ 血液サラサラの薬ってなに? 食べる機能を取り戻す

～血液サラサラのお薬と介護で知っておいてほしいこと～

介護の現場で、お薬のことで困ったことはありませんか?

食べ物の影響を受ける薬なのか、飲み忘れたときはどうすればいいのか、

薬を上手に飲むことができないなど…。

講師



青森県立中央病院

薬剤部副部長 棟方 美穂子



研修会では、「血液サラサラの薬」に注目し、  
何のために飲んでる薬なのか、食べ物や  
サプリメントの影響、飲み忘れた時の対応や、  
普段の生活で気をつけなければならないこと  
などを当院薬剤部の棟方副部長に講義していただきました。

参加者の  
感想



薬剤師 Aさん

具体的な例などをお話いただいたので連想  
しやすかったです。カプセルの飲み方などは  
目から鱗でした。



介護士 Bさん

説明してくれた内容がわかりやすく、自分が  
知らなかった部分を感じる事ができたので、  
今後に活かしていきたいです。

お知らせ

スキルアップ研修会 第5回は「電子処方箋から始まる情報共有」をテーマに、令和6年1月16日(火)に開催します。延期していた介護従事者に知ってほしい医療を学ぶ研修会 第1回「やめて、イヤだと拒否が続いたらどう考えて行動しますか?」についても1月13日(土)に開催することとなりました。みなさまのご参加をお待ちしております。

# 令和5年度 災害訓練実施の報告

## 災害医療総合訓練 - 10月14日(土)実施 -

災害時における基礎的な対処能力の向上を目的に実施しました。

訓練には、**医師・看護師・医療技術職員・事業者職員**の他、模擬患者役の**県職員・弘前医療福祉大学短期大学部**および**青森県立保健大学学生**など**130人**余りが参加しました。

同日には、県主催の東北ブロック DMAT 参集訓練もあり、当院の総合訓練とコラボレーションしました。



<訓練開始式の様子>

▶ 藤野病院長からのあいさつ



▶ 新潟県 DMAT 隊の支援を受ける赤エリアの職員



<傷病者治療の様子>

## 県原子力災害医療総合訓練 - 11月17日(金)実施 -

東北電力東通原子力発電所で事故が起きたことを想定し、すでに5月にエアートtent設置、7月に通信・連絡体制の機能別訓練を実施していましたが、今回は県主催の傷病者受け入れ対応の訓練が実施されました。

県内の医療機関に加え、北海道と宮城県から**原子力災害専門の医療チーム**も支援のため参加し傷病者の受け入れや除染の手順などを確認しました。



<安否確認所の様子>



▶ 模擬患者へ支援する医療連携部職員

— 基幹災害拠点病院として適切に災害医療を提供できるよう、今回の訓練を活かしていきたいです。 —

## PHR による病薬連携のご紹介

県病での PHR 登録者が累計 2,500 名を超えました。(令和5年11月13日現在)

令和5年12月から、青森市内の PHR 導入予定病院と門前薬局で病薬連携の試験運用を開始します。

- 患者さんがアプリを使って医療機関に情報共有すると、基本医療情報のほかに、患者さんがアプリで閲覧できない専門医療情報も医療者限定で共有されます。(＊専門医療情報はカルテ開示することで患者さんも閲覧可能)
- 病薬連携の試験運用では、専門医療情報として県病薬剤師の服薬指導記録、退院時説明書などが提供される予定です。
- PHR 版の医療連携は、厚生労働省の医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに対応し、セキュリティ対策やシステム運用に係る方針をセキュリティポリシーとしてインターネットに公開する予定です。PHR は、厚生労働省ガイドラインが推奨する暗号化通信で厳格に情報の保護を行っており、インターネットに接続できる既存のパソコンを利用することで、PHR から共有された情報を閲覧できるようになります。
- 当院から地域医療機関への情報提供は、次年度以降拡大していく予定です。

PHR の取組みにつきまして、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



PHR とは、パーソナル・ヘルス・レコードの略語です。

PHR アプリには、遠隔地に住む家族や医療機関（かかりつけ医、かかりつけ薬局など）に自分の健康・医療に関する情報を共有する機能があります。

## 診療予約時のお願い

医療連携部では、初診患者さんの診療予約を行っております。診療予約をしていただくうえで、下記のとおりお願いしたいことがありますので、ご確認くださいようお願いいたします。

- ・ **緊急性のある患者さんを紹介する場合は、紹介する診療科の医師と事前に相談の上ご予約ください。** それ以外の患者さんについては、受付順に診療予約を行っております。
- ・ **患者さんが予約をキャンセルまたは、日時の変更をしたい場合は、ご紹介いただいた医療機関から当院へ依頼してください。** 病状などによっては、患者さんの自己判断によるキャンセルが病状の変化や今後の診療に影響する可能性があるため、医療機関よりご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・ **患者さんが当院を受診する際は、診療情報提供書の原本が必要です。** 当院受診日当日は、必ず診療情報提供書をご持参いただきますようお願いいたします。

## 「患者さんへのご案内」について

当院へ患者さんをご紹介いただく際、受診日当日に患者さんにお持ちいただくものや、お知らせする内容について、事前に確認していただけるよう「患者さんへのご案内」をお渡ししております。

- ▶ 詳しくは、右のQRコードを読み取っていただくか、当院ホームページのトップ画面から「医療関係の方」をクリックし、「患者さんのご紹介」のページをご確認くださいようお願いいたします。



医療機関におかれましては、  
お手数をおかけしますが患者さんがスムーズに受診できるようにご協力をお願いいたします。

部内での  
取り組み



### 〈 看護業務のタスクシフト・シェア 〉

医療連携部の療養支援センターでは、ノンメディカルの事務員が、現在4名配置されています。

初診問診、入院前説明などの入院前支援業務に携わっており、看護師と協働で患者さんに対応しています。



### 📞 お問い合わせ先

◎ 外来予約グループ	017-726-8377	患者さんのご紹介や診療予約など
◎ 療養支援センター	017-726-8307	入院前・退院後の療養に関する相談など
◎ 相談支援グループ	017-726-8177	療養中の仕事や生活、お金や制度のご紹介・相談など
◎ がん相談支援センター	017-726-8435	がんに関するわからないことや療養上の相談
◎ 難病相談	017-726-8416	難病に関するわからないことや療養上の相談
◎ 企画グループ	017-726-8493	広報誌や研修会などに関するお問い合わせ
◎ PHR 事業推進グループ	017-726-8432	PHR に関するお問い合わせ